



専門医に聞きました。 大腸がんについて、3つのポイント

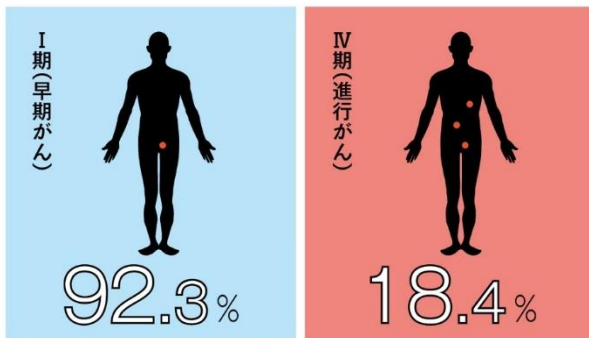
POINT
01

「早く見つけて、
早く治す」

早期のがん^{*1}の段階で治療すれば、
90%以上が治ります。^{*2}

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2～3日、または必要ない方もいらっしゃいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なく済みます。しかし、進行してがんが肺などに遠隔転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

〈生存率〉



※1 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類（TNM分類）におけるI期を意味します。（IV期に近いほどがんが進行している状態です）

※2 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。
出典：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル（純生存率）

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

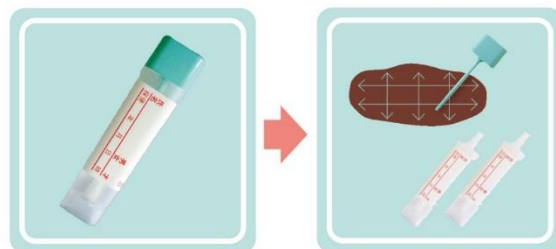
POINT
02

「自宅で
簡単にできる」

大腸がん検診は便の検査^{*3}です。

大腸がん検診は自宅で簡単にできる
便潜血検査です。内視鏡ではないですよ。

「大腸がん検査って、お尻からカメラ入れるやつでしょ」って誤解してる方多いんです。最初の大腸がん検診は自宅で簡単にできる検便です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ。それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。



検査キット

容器のフタについた
棒で便の表面を採取

注）痔の方もお受けください。現在明らかな出血や痛みがある場合は時期をずらして受けることをおすすめしますが、そのような症状がない場合は検査結果にはほぼ影響がありません。

※3 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

POINT
03

ほとんどの大腸がんは
早期のうちには

「自覚症状がありません」

みなさん「血便がでたら」とか
「異常を感じたら」病院に行こうって
おっしゃるんですが、大腸がんは、
早期には自覚症状がないんです。

日本では毎年約15万人が大腸がんにかかり^{*4}5万人が命を落としています。^{*5} 早期には自覚症状がないので「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。検診は毎年定期的に受けてください。もちろん、血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院に行きましょう。

女性の方へ

大腸がん罹患する人が増加しており、女性の部位別がん死亡数第1位。男性でも肺がんに次いで死亡者数が多いです。^{*5} 検診を受けることでがんによる死亡リスクが減少します。命を守るため、大腸がん検診を必ず受けてください。

※4 出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録、2021年）

※5 出典：人口動態統計（2023年）

